



J-Integra

pure JavaクライアントとマイクロソフトCOMコンポーネントを統合

Intrinsyc J-Integra

Intrinsyc J-Integraを使用して、JavaからCOMコンポーネントに、それらがあたかもJavaオブジェクトであるかのようにアクセスすることができます。また、COMからJavaオブジェクトに、それらがあたかもCOMコンポーネントであるかのようにアクセスすることができます。

pure Java DCOMの実行では、J-Integraは、どんなプラットフォーム上でも動くどんなJVMでも使用することができます。

J-Integraはまた、Windowsプラットフォーム上で動く時にパフォーマンスを最大にする"ネイティブモード"オプションをサポートしています。

アプリケーション

ブリッジ機能が非常にフレキシブルであるので、どんなCOMクライアント環境からでもJ-Integraを使用することができます。多くの種類のCOMオブジェクトにもアクセスすることができます。

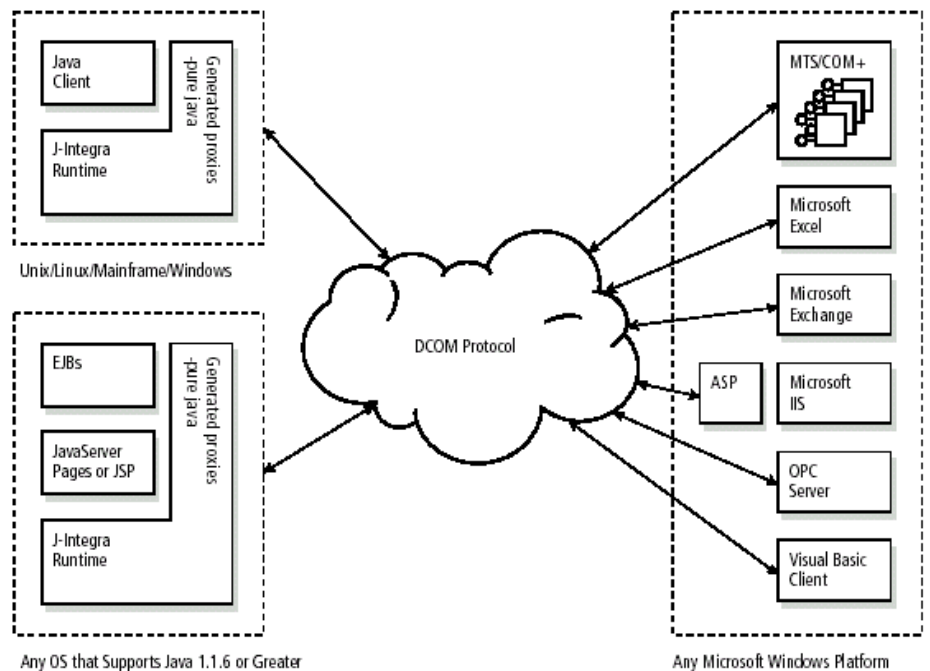
J-Integraの使用例として以下のものがあります。

- COM/Java APを製品に提供
- ASP (Active Server Pages)からEJB (Enterprise Java Beans)にアクセス
- Javaコードからマイクロソフト Excelスプレッドシートを生成
- EJBからVisual Basicクライアントを生成
- JSPからマイクロソフト Exchangeにアクセス (例 webベースの電子メール)
- Javaコードからマイクロソフト Word文書生成

ポータブルかつシームレス

pure Java実行では、J-IntegraはどんなJVM上でも動きます。COMタイプをJavaネイティブタイプへマッピングすることから、新しい型の体系を学んだり型変換のコードを書いたりする必要はありません。Visual Basicの stringは、java.lang.Stringであり、Dateは、java.lang.Dateです。

Visual Basicで起こる例外は、標準の try ~ catch構文を使用してJavaコードでcatchすることができます。同様に、Javaコードから例外をthrowことができ、それはCOMオブジェクト (VB、あるいはC++)にcatchされます。COM接続点は、Javaのイベント体系にマッピングされます。



Intrinsyc J-Integra

pure Java DCOMの実行
どんなJVMでも、どんなプラットフォームでも

JavaからCOMにアクセス
COMからJavaにアクセス

Windowsプラットフォームでの高速度な
"ネイティブモード"

数多くのステップバイステップ例がある
使いやすさ

ゼロクライアントとサーバーインストール
オプション - COMプラットフォームに
JVMや他の追加のソフトウェアは不要

どこでも動くJavaソフトウェアを作り、COMコンポーネントを再利用したいという要求には、J-Integratが応えます。

パワーはあなたのもの

J-Integratのフレキシビリティをご利用ください。
既存のCOMビジネスロジックオブジェクトに
Javaからアクセス
既存のJavaビジネスロジックオブジェクトに
COMからアクセス
既存のCOMベースの製品にJava APを提供、
逆にJava APに既存のCOMベースの製品を提供
何千ものCOMコンポーネントとJAVAオブジェクトを
再利用
VBクライアントマシンに特定のソフトウェアを
インストールせずに、VBクライアントから
Javaオブジェクトにアクセス

ランタイムプラットフォームサポート

JDK 1.1.6以上をサポートしているJVMが
動くプラットフォーム
Windows 9x/ME/NT/2000上で動く
開発ツール (例えば、com2javaユーティリティ)

例として以下のものがあります。

JavaからExcel
JavaからVisual Basicへ、Visual BasicからJavaへ
JavaからVisual C++へ
COMにアクセスする JavaServer Pages
Excel/VBAからJavaへ
ASPからJavaへ
DelphiからJavaへ
Inprise Application Server
SilverStream Application Server
BEA WebLogic
IBM WebSphere Application Server
NetDynamics
Planet Application Server
JBuilder
IBM VisualAge
Java AWT コンテナの中のActiveXコントロール
JavaからRational Roseへ
Microsoft Outlook

他にもたくさん ...



旭テクネイオン 株式会社 情報システム事業部

ホームページアドレス : <http://www.asahi-technion.co.jp/>

東京 / 〒160-0022

北九州 / 〒800-0211

東京都新宿区新宿 1-1-14山田ビル 10F 北九州市小倉南区新曽根 11-15

TEL : 03-5363-8941 FAX : 03-5361-8165

TEL : 093-474-7101 FAX : 093-474-7100